

青梅市社会教育委員会議 5 月定例会会議録

日 時

令和 6 年 5 月 2 1 日

会 場

市役所 2 階 2 0 1 会議室

出席者

(委員)

宮野委員、吉野委員、塚田委員、神山委員、市川委員、
築地委員、鈴木委員、鶴岡委員、白井委員、園田委員

(事務局)

平岡課長、柘植係長、橋本主任、

欠席者

(委員) なし

開会に先立ち、委嘱状交付式あり

1 開 会

課長が議事進行

2 協議事項

(1) 役員の選出について

委員から事務局一任の声あり。

前期から継続して、議長を宮野委員、副議長を吉野委員で決定。

(宮野委員) 縁あってまた議長を受けることとなったので、皆様また 2 年
間どうぞお願いしたい。

(吉野委員) 社会教育委員になり 4 年経つところ、議長を補佐して進めて
いきたい。

以降議長が議事進行

(2) 派遣委員の推薦について

(協議資料 1)

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

任期 令和 6 年 5 月 1 4 日～令和 6 年 9 月 3 0 日

事務局説明、退任した前任者の残任期間の派遣委員を決定する。

(委員) 前任者と選出団体が同じである築地委員が良いと考える。

全委員承認、築地委員で決定する。

(その他の派遣委員)

ア 青梅市美術館運営委員会委員
白井委員 任期 令和４年１０月７日～令和６年１０月６日

イ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員
鶴岡委員 任期 令和５年７月１０日～令和７年７月９日

ウ 青梅市図書館運営協議会委員
園田委員 任期 令和５年１０月１日～令和７年９月３０日

エ 青梅市スポーツ振興審議会委員
市川委員 任期 令和６年５月１４日～令和８年５月１３日

(3) 青梅市社会教育委員会議４月定例会会議録について (協議資料２)
(事務局説明) すでに電子メール添付にてご確認いただいておりますが、何かあればご指摘願います。

(委員) 補助金に関する意見があり、事務局で後日回答とのことであったが、どのように対応したのか。また、社会教育委員会議の会議録としてどのように記載するのか。

(課長) 質問した本人には前回定例会から１週間ほどして来庁されたので説明し、ご理解いただけた。委員の皆様にも改めてまとめて報告したい。

(委員) 特定の団体に関するものだと感じたので、会議録に詳細を記載する必要はないと思われる。

～補助金に関する意見については、会議録では簡略化して記載し、その文面は事務局一任することに決定して承認～

(4) その他
特になし

3 報告事項

(1) 令和６年度社会教育委員年間予定について (報告資料１)
事務局説明、定例会ほか青梅市の事業および東京都市町村社会教育委員連絡協議会に関連して委員が出席する事業を説明。

(2) 令和６年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について (報告資料２)

ア 日 時 令和６年４月２０日（土）午後１時から
イ 場 所 調布市文化会館たづくり
ウ 内 容 表彰・議事・講演

エ 出席者 吉野委員、神山委員、市川委員、

随 行 事務局 柘植係長・橋本

事務局説明、出席委員の感想

(委員) 青梅市で複合文化施設建設についての会議が行なわれるようになったため、最近では公共施設を注意して見るようになったが、非常に立派な会場だと感じた。今回の定期総会では青梅市から宮野委員・神山委員・市川委員の3人が表彰された。定期総会終了後の講演会まで1時間ほど空きがあったため担当事務局の手際に疑問が残った。講演のテーマは「障がい者の生涯学習」という、今まで考えたことのないテーマであった。障がいをもつひとが学校卒業後の活動する場について、学ぶ場がない、家庭と職場以外に人と関わる場がない、障がい者の方も可というイベントがあっても実際に参加することもない、参加したら本人たちも受け入れる側も大変な思いをすることになる、という現状がある。

自分の知り合いに、青峰学園出身の方がいるが、先日のたまぐーセンターの5周年事業に琴の団体の一員として参加し、MCを行なった。知的な障がいがあることから自分で考えて行動することが苦手なので、今までなら台本どおりに話すことで手一杯だと思われたが、今回アドリブができるようになり、就職してから成長したことを感じた。そのようなことを考えながらこの講演を聞いて、子どものやりたいことに寄り添える人になりたいと思った。

(委員) 講師の小林氏は社会教育職員養成連絡協議会の理事もして、障がい者の生涯教育についての事例も豊富に持ち、いろいろな活動をしている人である。実際に障がい者にどう寄り添うのか、健常者だけの生涯学習で良いのか、そのようなことを含めて改めて考えさせられる良い講演だった。社会教育法の中に公民館の業務には地域の社会福祉に貢献することがあるが、最近全体的にマンネリ化して福祉に対しては顧みられていないと感じていて、改めて子どものことを含めて社会教育について見直していかなければいけないと痛感した。

(委員) 今回の定期総会はスムーズに終了したが、新規役員の奥多摩町の谷田貝委員を紹介するときに少しもたついた。講演まで1時間の空き時間があった。研修は小林先生による障がいを持つ方の生涯学習についてというテーマで行なわれた。今までこのような方向性の話は聞いたことが無かったので非常に勉強になり、社会全体で取り組んでいかなければいけない問題だと感じた。

(委員) 講演会まで1時間空いたことについて、やはりノウハウの蓄積の必要性を感じた。

(3) 令和6年度全国社会教育委員連合表彰候補者の推薦について

(報告資料3)

事務局説明、表彰規定実施細目に基づき在任期間が7年以上である園

田委員を推薦することとした。

(4) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2024 の開催結果について

(報告資料 4)

事務局説明、天候に恵まれたため昨年に比べて参加団体、参加者、観覧者が増加した。

(委員) 大変にぎやかに行われたとのことで、皆様から御意見を伺いたい。

(委員) ボランティアで参加している多摩リハビリテーション学院はかなり前から参加しているが、学校の先生が積極的なのか

(課長) 生涯学習推進市民会議の議長が多摩リハビリテーション学院の学院長で積極的に動いていただいているからだと思われます。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果

(報告資料 5)

事務局説明、5月1日の教育委員会への提出資料

(6) 派遣委員の報告について

(委員) 美術館運営委員会について報告あり。会議内での報告事項としては令和5年度の実施結果、市民からのアンケート結果、および改修工事について令和8年度までの工程表が配布された。協議事項としては、基本方針について、社会教育委員からのとりまとめ意見をはじめ、様々な意見が出ているため、当初会議中に決定する予定だったが、会議内では未決となった。しかし、その後連絡があり、現在の委員の任期中に方針を決定するため、この会議の議事録をもって委員から意見を聞き取り最終案を検討したいということになった。

(7) その他

特になし

4 その他

配布物

- ・第5次青梅市子ども読書活動推進計画書
- ・青少年委員だより「みらい」
- ・社会教育委員名簿（氏名・肩書・選出母体のみで個人情報なし）

(委員) 先ほど前回の会議録について協議したが、前回話した中で、補助金の対象については社会教育委員会議で諮るべき内容だと考える。今後議題に取り入れることを希望したい。

次回定例会

6月18日（火）

18：30～